

臨床医のための医学論文の書き方に関するFD(大学院FD)会 —第500回川崎医学会講演会—



消化器外科学 教授 藤原 由規 先生

近年のインターネット社会の発展により、医学論文もネットを通じて投稿される機会がほとんどとなりました。また、従来のDHL等の投稿により時間短縮され、審査も迅速となり採択の可否も短時間で受け取ることが可能となった一方で、情報の氾濫のためか正しい医学論文の書き方をLectureした本、雑誌が少なく、これが若い先生方のハザードとなっているのが現状のように思えます。今回、私がReviewした論文の経験から、正しい医学論文の書き方および方法論を講演いたします。

今回の講演内容は、臨床データの考え方：前向き研究と後ろ向き研究、論文の骨格と構成についての説明、医学統計に関する基本的な考えかたなど、論文作法の基本として説明いたします。主に英語論文の書き方の説明になるとは思いますが、日本語論文を考えている先生にも十分に活用できるような説明にしたいと考えています。今回のLectureが若い先生方の論文作成の手助けになれば幸いです。

ポータルサイトを通じた動画視聴

視聴期間：R4.4.15～R4.6.30

- ※大学院生で講義として受講する場合は必ず教務課(大学院)へ問い合わせてください。
- ※医大図書館にてDVDの貸出しを行っています。